

# 2020年版ちひろカレンダー普及ニュース

発行：原水爆禁止神奈川県協議会 横浜市中区野毛町 2-61 大沢ビル 4A  
Tel 045 (231) 6284 Fax 045 (261) 6577 Mail- kana-gensuikyo@gol.com 発行日：2019.12.10 No.2

## 4,300本になりました!

**昨年の4,610本を突破し、5,000本に迫る普及を最後まで**

ちひろカレンダー普及が最終盤になりました。これまで多くの方の奮闘で4,300本になりました。50数年前、ベトナム戦争が激しかった時、「ベトナムに広島・長崎を繰り返させるな」の原水協の呼びかけがきっかけとなり、核兵器廃絶の「ちひろカレンダー」が誕生しました。このいわさきちひろさんの熱い思いを、今、受け止め前に進める時です。ちひろカレンダーを市民の中に大きく広げたいと思います。そのことは、財政的にも力強い態勢をつくることになります。

2020年を転換の年にするためにも、5000本目標を最後まで追求しましょう。

## これからは、あと1本、あと3本の普及が前進のカギです

現在の状況は、昨年、取り組んだ全団体・地域原水協は、普及の取り組みを進めています。川崎市原水協、新婦人、神商連は、昨年を超えて注文し普及しています。ただ、多くの団体や地域原水協では僅かずつ昨年比減っています。これは諸般の事情で、あり得ることと思います。

そこで、新しい人、まだ声をかけていない人、「お土産」「お礼」などなど、もう一度考えてみてはどうでしょうか。きっと、「あと一本、あと3本」の普及がでかと思えます。

## カレンダー福島贈呈募金もよろしく

ちひろカレンダー  
原発被災地募金は  
**101,500円**

- ★原発事故被災地にちひろカレンダーを贈る募金もよろしくお願ひします。
- ★カレンダー募金は1月末まで取り組みます。お正月の様々な機会に呼びかけましょう。

県原水協鈴木事務局長が  
福島にカレンダーを届けてきました。

鈴木さんが見てきた福島原発事故被災地の相馬市、南相馬市、檜葉町の6のつ小中学校では、原発被災地の苦しみと困難は子どもたちのなかにあったと話しています。また、「子どもにとって友達がふるさと」ですが、その故郷が失われている現実があるとも述べています。

私たちは、「福島をわすれない」の思いでささやかですがカレンダーを届けることも大切です。今年、日本原水協として3259本プレゼントしました。先生も子ども喜んでくれました。ある学校から、訴えた「ヒバクシャ国際署名」をお礼とともに32筆送ってくれました。

福島原発事故被災者に心寄せ募金をお願いします。

## ちひろカレンダー代を早急に納入、お願ひします!

カレンダー業者への支払いが待たなしの時期です。大至急、カレンダー代を納入お願ひします。

★第1次納入日12月13日(金) ★第2次納入日12月20日(金)

最終納入日は、12月25日(水)です。よろしくお願ひします。